

事業の成果

[1] 子どもの権利条約の推進及び、子どもの諸活動に関する支援事業

●チャイルドライン事業

基本的に毎週月曜日（福井）と第 1 第 3 木曜日（奥越）に 16 時～21 時まで開設しました。総通話件数は 2,679 件（無言含む）、受け手はのべ 310 名でした。

●空とぶじゅうたん事業

出産前後～幼児を持つお母さんを対象にマタニティ・カフェを開催しました。ミニ講演会（5 回）、県外講師による講演会（2 回）でのべ 174 名の参加がありました。自然を楽しむ森遊びは計 4 回、のべ 57 名の参加がありました。お母さんたちの人形劇サークルが練習で交流を深め、保育園や幼稚園など 11 か所で公演しました。

●子どもフェスティバル事業

10 月 18 日に駅前商店街アップルロードと新栄テラスにて、子どもが主役になるお祭りを開催しました。小学生の子どもフリーマーケット（83 店舗・191 名）、中高生のパフォーマンス・ライブ（3 グループ・8 名）、大道芸公演・チカパンのパントマイム、人形劇公演・あなたが生まれるまで（参加 56 名）と様々な企画に子どもたちが自主的に参加し作り上げました。

●児童クラブ運営サポート事業

木田児童クラブの運営主体が木田児童クラブ運営委員会に移行したことに伴い、入会申し込みや決定に関する事務・職員研修の企画と実施・子どもの遊び講師依頼など管理業務の一部をサポートしました。

[2] 子どもと文化に関する交流、サポート及び人材育成事業

●梅田演劇工房

これまでの演劇的手法を使った表現教育に加えて、子どもの舞台作り・演劇キッズを開催しました。練習は毎月 3 回、9 か月（全 28 回）、3 月 27 日に響のホールで舞台劇「ぼくらのみらい」の発表を行い約 150 名の観客を集めました。舞台作りを通して子どもたちは 1 つの目的に向かって仲間と協力しあう大変さ・楽しさを味わい達成感をえました。

●表現活動グループ What's トントントン

小学校や児童クラブ・保育園・公民館・子育て支援センターで計 8 回の講演を行いました。子どもたちに表現遊びの楽しさを体感してもらい、心を伝えることの大切さを伝えました。

●大人が学び合う講座事業

今年は「子どもの貧困を考える」をテーマに連続 4 回の講座（県外講師 3 名、県内講師 1 名）を開催しました。参加者は回を追うごとに増え、のべ 144 名を数えました。子どもの貧困の実態を学び、福井でも現実にあることを知りました。

[3] 文化事業の企画、調査並びに文化事業に対する協力及び連携事業

- 県内小学校・幼稚園・社協・その他子育て関係団体に舞台や人形劇などを紹介しました。子どもたちに豊かな放課後を作る活動の一環として児童クラブ連絡協議会を通じて大きな舞台での影絵公演を紹介しました。

[4] 出版及び広報事業

- 広報誌「こども Channel」を年間 3 回、計 8000 部発行しました。特集「子どものチ・カ・ラ」は去年から継続しているテーマです。福井県内の子ども関連団体、教育機関、公共施設に配置し、賛助会員には個別配布しました。